



2401

## 使用説明書

動物用医薬品

使用前に必ず本使用説明書を読み、注意事項を守って使用して下さい。

# ガルエヌテクト CBL

(鶏大腸菌症生ワクチン)

### 【製法及び性状】

本剤は、弱毒鶏大腸菌血清型 O78 AESN1331 株を液体培地で増殖させ、遠心して得られた沈殿菌に安定剤を加えて凍結乾燥し、減圧下で封じたものである。

淡黄灰褐色～淡黄灰色の乾燥物で、生理食塩液に溶解したものは半透明な淡黄灰色の均質な液体となる。

### 【成分及び分量】

ワクチン	1,000羽分中		
主 剤	鶏大腸菌 血清型 O78 AESN1331 株	$1 \times 10^{10} \sim 1 \times 10^{12}$ CFU	
安定剤	脱脂粉乳	100mg	
安定剤	酵母エキス	50mg	
安定剤	D-ソルビトール	100mg	

### 【効能又は効果】

鶏大腸菌症の予防

### 【用法及び用量】

鶏を対象とし、ワクチンを日局の生理食塩液を用いて1,000羽分あたり100～300mLに溶解し、3～4週間隔で2回投与する。初回は噴霧器、第2回は噴霧器又は散霧器を用いて投与する。

### 【使用上の注意】

#### (一般的注意)

1. 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方せん・指示により使用すること。
2. 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
3. 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。

#### (使用者に対する注意)

1. 誤ってワクチンが眼、鼻、口等に入った場合は直ちに水で洗浄すること。必要があれば本使用説明書を持参し、医師の診察を受けること。

#### 本ワクチン成分の特徴

微生物名	抗 原		アジュバント	
	人獣共通 感染症の 当否	微生物の 生・死	有無	種類
鶏大腸菌 O78	否	生	無	

本ワクチン株は、人に対する病原性はない。

本ワクチンに関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

日生研株式会社 製品係 〒198-0024 東京都青梅市新町9丁目2221番地の1  
TEL 0428-33-1009、FAX 0428-31-6696

2. 作業時には防護メガネ、マスク、手袋等の防護具を着用し、眼、鼻、口等に入らないように注意すること。
3. 作業後は、石けん等で手をよく洗うこと。

#### (鶏に対する注意)

1. 制限事項
  - (1) 本剤の投与前には健康状態について検査し、重大な異常(重篤な疾病)を認められた場合は投与しないこと。
  - (2) 鶏が次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質等を考慮し、投与の適否の判断を慎重に行うこと。
    - ・元気消失、食欲不振、発熱、下痢、呼吸器症状など臨床異常が認められるもの。
    - ・疾病の治療を継続中のもの又は治癒後間がないもの。
    - ・明らかな栄養障害があるもの。
    - ・他の薬剤投与、導入又は移動後間がないもの。
  - (3) ワクチン投与後は、飼育管理に十分に注意し、鶏に与えるストレスの軽減に努めること。
2. 副反応
 

ワクチン投与後に呼吸器症状が見られる場合がある。
3. 相互作用
  - (1) 本剤には他の薬剤(ワクチン)を加えて使用しないこと。
  - (2) 本剤投与前後は、ワクチン株に影響を及ぼすような薬剤の投与又は飼料中への添加を避けること。

#### 4. 適用上の注意

- (1) 噴霧器具及び散霧器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒した器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと（ガス滅菌によるものを除く）。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、常温まで冷えたものを使用すること。
- (2) 乾燥ワクチンのゴム栓は消毒し、滅菌済みの注射器具等で1,000羽分当たり約4mLの生理食塩液を乾燥ワクチン容器に注入し、よく振盪して均一に溶解すること。
- (3) 滅菌済みの注射針をゴム栓から刺し込み、溶解したワクチンを注射器内に吸引し、噴霧又は散霧器具の薬液ボトルに注入すること。その際、噴霧又は散霧器具の取扱い説明書を読み、注意事項を守って使用すること。
- (4) 噴霧又は散霧接種する前に、あらかじめ噴霧あるいは散霧の量、時間、粒子の大きさ等を調整し、最適条件で使用すること。
- (5) 噴霧又は散霧接種する際には、ワクチン接種する対象鶏群の全部の鶏に均等に噴霧あるいは散霧すること。
- (6) 噴霧又は散霧接種する際には、なるべく鶏舎内の空気の流れを止めて、鶏舎外への流出を防ぐこと。ただし、夏期には舎内温度が過度に上昇しないように注意すること。
- (7) 噴霧又は散霧接種により、他の鶏群が噴霧又は散霧粒子を吸入するおそれがあるので、隔離などの処置をして十分に注意すること。
- (8) 長時間にわたる噴霧又は散霧は噴射口の温度が上昇し、効力低下を招くので注意すること。

#### [取扱い上の注意]

1. 乾燥ワクチン瓶内は、真空になっており破裂するおそれがあるので、強い衝撃を与えないこと。
2. 外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
3. 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
4. 使用時よく振り混ぜて均一とすること。
5. 開封時にアルミキャップの切断面で手指を切るおそれがあるので注意すること。
6. 溶解は使用直前に行い、溶解後は速やかに使用すること。使い残りのワクチンは雑菌の混入や効力低下のおそれがあるので、使用しないこと。
7. 使い残りのワクチン及び使用済みの容器は、消毒又は滅菌後に地方公共団体条例等に従い処分、若しくは感染性廃棄物として処分すること。用いた器具や器材は消毒後水洗いすること。

#### [保管上の注意]

1. 小児の手の届かないところに保管すること。
2. 直射日光又は凍結は、品質に影響を与えるので避けること。

注意—獣医師等の処方せん・指示により使用すること。

#### [貯法及び有効期間]

1. 遮光して、10℃以下に保存する。
2. 有効期間は、3年間である（最終有効年月は外箱及びラベルに表示）。

#### [包装]

1本 1,000羽分 3,000羽分

[2014年2月改訂]

日生研株式会社  
東京都青梅市新町9丁目2221番地の1

13125K20